



近江のまつりの今とこれから



「町人文化の華—大津祭」大津市歴史博物館発行より

第1回

7月9日(水) 14:00~16:00 受付13:30~ **びわ湖ホール 研修室(3F)**
近江のまつりの課題と展望① 大津市打出浜15-1

＜都市のまつりの今とこれから 大津祭を対象に＞

講師 木津勝氏 (大津市歴史博物館 副館長)
船橋寛明氏 (大津祭曳山連盟 理事長)
コーディネーター 加藤賢治氏 (成安造形大学 副学長、文化・経済フォーラム滋賀 幹事)

第2回

9月17日(水) 14:00~16:00 受付13:30~ **びわ湖ホール 研修室(3F)**
近江のまつりの課題と展望② 大津市打出浜15-1

＜鎮守の神のまつりの今とこれから＞

講師 市川秀之氏 (滋賀県立大学 教授)
コーディネーター 加藤賢治氏 (成安造形大学 副学長、文化・経済フォーラム滋賀 幹事)

参加無料

参加のお申し込みはホームページ(右の二次元コード)の
申込フォームから。定員(30名)になり次第、締め切ります。

文化・経済フォーラム滋賀

検索

<https://biwako-arts.or.jp/rd/bunkakeizai>



申込フォーム

近江のまつりの今とこれから

文化と経済の好循環を生み出すには、文化が育まれる「土壌」、すなわち人々が長い時間をかけて築いてきた地域社会のあり方が重要です。日本各地に残る「まつり」は、その土地ならではの「土壌」を特色づける無形の地域資源ですが、特にコロナ禍以降、その継承については人口減少や生活様式の変化から、多くの課題が山積するという現状があります。

豊かな文化の「土壌」を育んだ滋賀・近江の風土をヒントに、地域の「まつり」とその地域に展開されるコミュニティを見つめ直し、令和の時代の「まつり」の価値を再認識し、未来の地域社会を考えます。

第1回(7/9)

近江のまつりの課題と展望①

＜都市のまつりの今とこれから 大津祭を対象に＞

「まつり」の資金、担い手不足などの現状を抱えながら、一方でマンション建設ラッシュの中、新住民に「まつり」にどう関わってもらえるか。その可能性を含めて都市の祭礼の現状を探ります。

第2回(9/17)

近江のまつりの課題と展望②

＜鎮守の神のまつりの今とこれから＞

地方の人口減少に直面している地域で、一旦中止されている祭礼や、行事の省略が進む中、今後元に戻していくことは可能なのか。地域の課題について考えます。

「近江のまつりの今とこれから」関連事業のご案内

○文化ビジネス塾＜シンポジウム＞

日時：2025年11月3日（月・祝） 午後

場所：滋賀県立文化産業交流会館 会議室（米原市下多良2-137）

○提言発表

日時：2026年2月23日（月・祝） 午後

場所：びわ湖ホール 小ホール（大津市打出浜15-1）

【文化・経済フォーラム滋賀】＜会員募集中！＞

「文化で滋賀を元気に！」を合言葉に、産官学民の各分野で活躍している人たちが集まり発足した会員制の団体です。「分野を超えて交流を深め、経済と文化の活性化に会員皆様のお力をお借りし、文化の薫り高い滋賀県の将来を築きたい」という誓いをもとに、さまざまな「文化で滋賀を元気に！」する活動に取り組んでいます。

主催 文化・経済フォーラム滋賀（事務局：公益財団法人びわ湖芸術文化財団 地域創造部内）

問合せ 電話 077-523-7146（火曜日を除く9:00～17:00） FAX 077-523-7147